2023 年 4 月吉日

会　員　各　位

日　本　年　金　学　会
代表幹事　玉 木　伸 介

第 43 回日本年金学会研究発表会　研究発表公募のお知らせ

第 43 回日本年金学会総会・研究発表会は、JJK 会館（全国情報サービス産業企業年金基金　中央区築地 4－1－14・東銀座駅徒歩 3 分）およびオンラインにて、2023 年 10 月 26 日（木）・27 日（金）の 2 日間開催する予定です。学会員の皆様には多数ご参加・ご発表下さるよう、よろしくお願い申し上げます。先般開催された幹事会において決定された今年度の研究発表の共通論題テーマは、以下の通りです。

研究発表会の共通論題テーマ　**「社会経済の変化と公的年金保険の相互作用」**

少子化、人口減少、寿命の伸長、家族のあり方の変化、さらに働き方の変化等、社会が変容しています。こうした変容には、各コーホートの家族観やジェンダーの意識の変化も含まれるでしょう。また、非伝統的な金融政策の長期化や労働市場の供給制約が相俟って、過去四半世紀とは異なる物価や賃金の動向の時代が来つつある可能性も指摘されています。公的年金保険は、こうした変化の影響を受ける一方で、例えばパートタイマーやマルチワーカー等の働き方に影響を与える等、社会経済との相互作用があります。

そこで今回は、社会経済の変化と公的年金保険の相互作用に着目しつつ、適用、負担、給付等について、公正性や適正性等の観点から論じていただきます。特に、年金制度は将来の世代に何ができるかとの問題意識のもと、若手学会員の積極的な応募をお待ちしています。

応募にあたり、以下にご留意ください。

○　学会員個人（複数人を含む）の立場で初出の論文を発表することが原則です。テーマは自由論題、共通論題のいずれでもかまいません。
○　個人の立場ではない発表（団体を代表する等）をご希望の場合、研究発表申込書にて趣旨をご説明ください。
○　共通論題をテーマとしたシンポジウムは幹事会が企画します。このため、共通論題で応募して発表が認められた場合でも、自由論題の時間帯での発表になることがあります。

研究発表をご希望の学会員は、別紙「研究発表申込書」にご記入の上、電子メール（FAX または郵便も可）で、6 月 2 日（金）までに事務局宛て必着でお送り下さい。希望者には、別途 A4 版で 3 枚程度の発表要旨を作成し、7 月 31 日（月）までに事務局宛て提出いただきます。幹事会にて要旨を審査の上、発表者を決定いたします（「研究発表申込書」受領後、個別に詳細をご案内いたします）。

【お問い合わせ先】　〒108-0074　東京都港区高輪 1-3-13　NBF 高輪ビル４ F
（公財）年金シニアプラン総合研究機構内
日本年金学会　事務局担当　岡村
電話　03-5793-9411　　Fax　03-5793-9413
E メール：info@pension-academy.jp　　年金学会 URL：https://www.pension-academy.jp/

第 43 回日本年金学会研究発表申込書

電子メール送信先	info@pension-academy.jp

◆ 申込締切：2023 年 6 月 2 日（金）◆

会員番号		ふりがな	
		氏名	
所属	名称		
	部署・役職		
希望する発表区分		1　自由論題　　2　共通論題	
発表テーマ			
連絡先		1　自宅　　2　所属先	
連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	E-メールアドレス		

発表内容概略（下欄に 250 文字程度で記入のこと）

注）個人の立場ではない発表の場合は、この欄で趣旨をご説明下さい。

※1　この申込書に記載の個人情報は、日本年金学会研究発表会の運営のみに利用します。
※2　本様式のファイル（MS Word 形式）を年金学会 WEB サイト上に掲載していますので、ダウンロードしてご使用いただけます。